

た、國民を馬鹿にしてゐるのではないか、ロンドン條約、國際聯盟退等が非常時ではない。十六條の制裁も心配はない、經濟封鎖は英米の東洋、南洋に商品の賣込が出来なくなる結果それは出来得ないことと第二の武力も今の日本には手出は出来ない、松岡全權が椅子を蹴つて聯盟を出たのは政府の回訓ではなく靖國神社に於ける在郷軍人四萬の至誠盡忠の萬歳の雄叫びであつた國民は政府を鞭達せよ、米國の氣味を取つて男爵になつた馬鹿者もあるではないか、然らば非常時とは何か、非常時は内にあるそれは英米國際聯盟を崇拜する或る一部の不屈な連中の上であり、外に恐る可きものなし、この非常時は國民の決心如何にて短くも長くもなるが、日本に取つては目出度き非常時である。滿洲事變以後國民が自覺し、本然の力に歸り僅か二箇年で世界一の産業國になつた、紡績

財團
協同會
福岡出張所

人絹、電器具等日本生産品は世界を覆つてゐる。これ農民や労働者の力に外ならない、平和の産業戦争に於て遠距離的砲撃で粉碎しつゝある、滿洲問題と言ふ一つの難關を乗切つた結果である、日本の非常時は強き新しき日本へと生れ代る非常時である、苦しいとて最後を努力を續けねばならぬ時だ。日本のみが持つ皇道精神を以て世界の人民を救ふものなりと言ふ事を鮮明にし世界を指導する光榮國に達する迄奮い努力を盡す事が非常時である。今の儘では足並が整はない、農村教育、政黨財閥、財政、國防の全部が國家總動員をなしブルジョア、ダンス外交を排撃し正しき日本を世界に知らしむる國民外交、皇道外交が必要である。國民は金に苦しむ要はない、天皇の御機成本位の紙幣の發行をやり、國民生活、財政の確立すべき皇道經濟を斷行し天皇中心の熱ある信念と國

財團
協同會
福岡出張所